

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第36週の発生動向

トピックス

・インフルエンザ (定点把握対象の疾患)

第36週 (9/2~9/8) の定点当たりの報告数は1.17と、流行期の目安となる1.0を上回った。昨シーズンと比較して14週間早く、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

全数報告の感染症 (36週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。5類感染症：百日咳4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	小林	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
5類	百日咳	日南	40歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ
		高鍋	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳
		日向	5~9歳	男	—	持続する咳

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は946人(定点当たり27.2)で、前週比115%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病と流行性角結膜炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

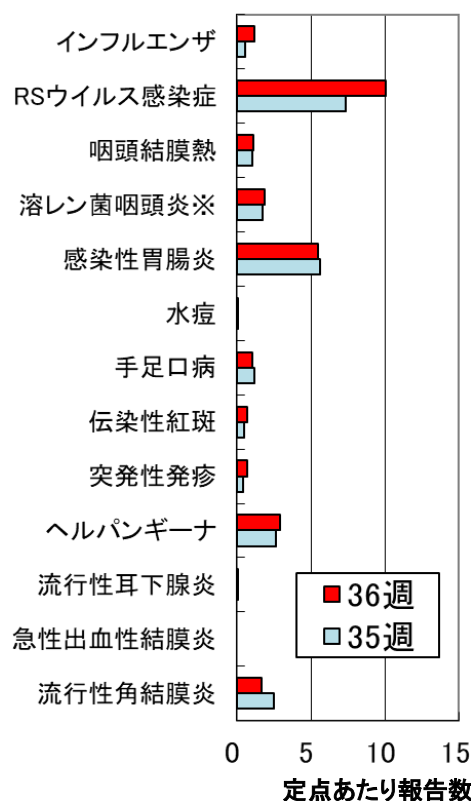
報告数は69人(1.2)で、前週比217%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.06)の約19.5倍である。延岡(6.3)、中央(4.5)、小林(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では5~9歳が全体の約半数を占めた。

【RSウイルス感染症】

報告数は361人(10.0)で、前週比136%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(4.0)の約2.5倍である。日向(15.3)、日南(12.3)、都城(12.2)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約7割を占めた。

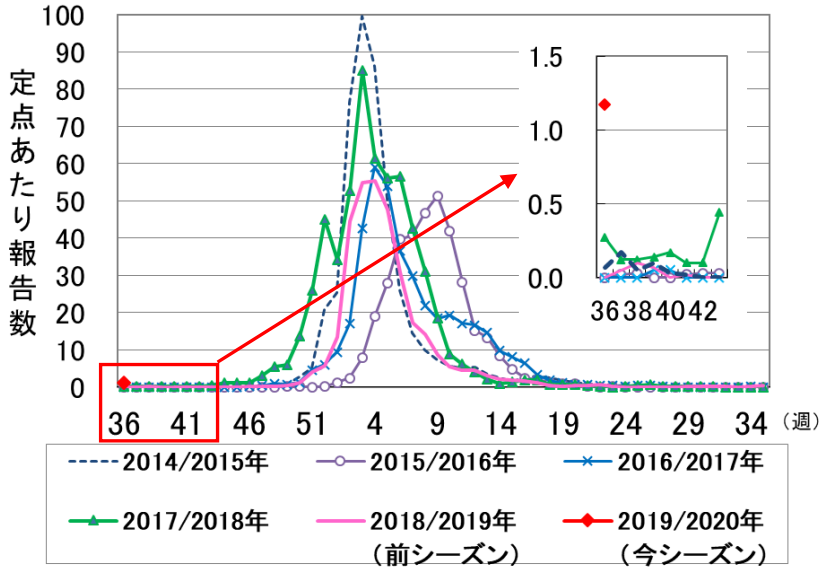
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

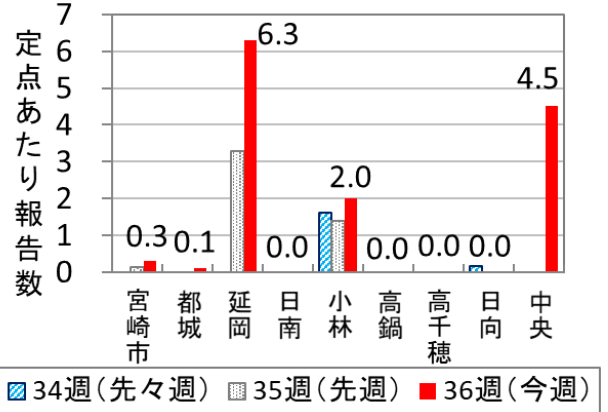


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

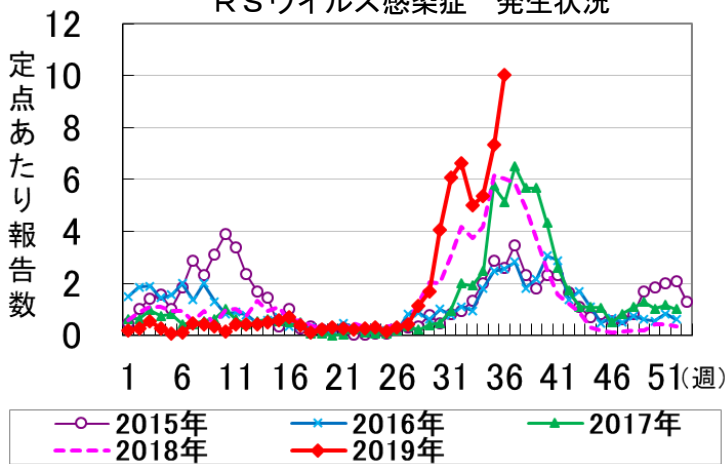
インフルエンザ 発生状況



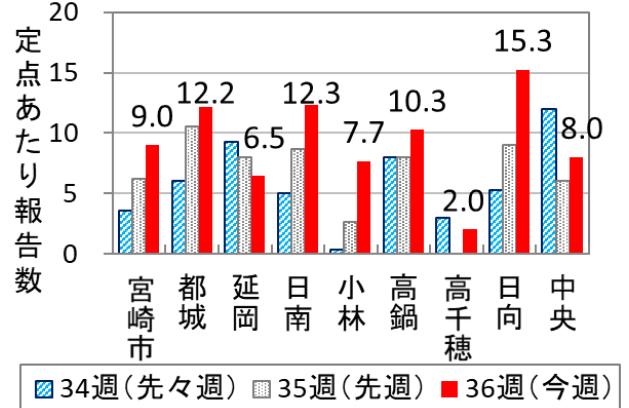
インフルエンザ 保健所別グラフ



RSウイルス感染症 発生状況



RSウイルス感染症 保健所別グラフ



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から2例報告があり、0～4歳と5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(9.5)
日南	咽頭結膜熱(3.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	ヘルパンギーナ(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年9月9日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	80歳代	女	2019.08.09	発熱(38.5℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2019.08.16
EPEC(O128:H2)	0～4歳	男	2019.08.13	胃腸炎(出血性下痢)	便	2019.08.27
EPEC(OUT:H21)	5～9歳	女	2019.08.23	胃腸炎(腹痛)	便	2019.09.03
Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	30歳代	女	2019.08.20	高血圧腎症	膣分泌物	2019.08.20
EHEC(O157:H7 VT2)	70歳代	女	2019.08.23	胃腸炎(下痢)	便	2019.08.29

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ノロウイルス G II ライノウイルス	0～4歳	男	2019. 07. 13	急性循環不全、下痢、腎機能障害、 頻呼吸	便 咽頭ぬぐい液	2019. 09. 04 2019. 09. 02
アデノウイルス1型	0～4歳	女	2019. 07. 16	不明発疹症、39. 6℃、咽頭炎、紅斑	咽頭ぬぐい液	2019. 09. 06
コクサッキーウイルスA4型	0～4歳	男	2019. 07. 16	不明発疹症、39. 3℃、丘疹	咽頭ぬぐい液	2019. 09. 02
ヒトヘルペスウイルス6	10歳代	女	2019. 08. 09	急性弛緩性脊髄炎、麻痺	咽頭ぬぐい液	2019. 09. 04

○胃腸炎症状のある乳児からノロウイルス G II が検出された。ノロウイルスは吐気・嘔吐・下痢を主症状とし、大半は治療することなく治癒するが、乳幼児や高齢者においては重症例・死亡例も報告されている。11月から12月に流行のピークを迎えるが、年間を通して報告されており、手指や食品を介して経口感染する。また、症状が消失しても長くて3週間程度はウイルスが便中に排出されるため、手洗いや食品の取り扱いに注意が必要である。

🇯🇵 全国 2019 年第 35 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 35 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	373 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	157 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	10 例	A 型肝炎	8 例	チクングニア熱	2 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	20 例	日本紅斑熱	10 例
	マラリア	1 例	類鼻疽	1 例	レジオネラ症	69 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	39 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘（入院例）	7 例	梅毒	99 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	353 例	風しん	21 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 115% と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は R S ウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患は水痘である。

R S ウイルス感染症の報告数は 7,673 人(2.4) で前週比 177% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (1.3) の約 1.9 倍である。宮崎県(7.4)、長崎県(6.1)、山形県(5.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第36週(09月02日～09月08日)

疾病名		第35週	第36週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	32	69	5	1	44		10				9
	定点当り	0.54	1.17	0.31	0.10	6.29	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	4.50
RSウイルス 感染症	報告数	265	361	90	73	26	37	23	41	2	61	8
	定点当り	7.36	10.03	9.00	12.17	6.50	12.33	7.67	10.25	2.00	15.25	8.00
咽頭結膜熱	報告数	39	40	22	3		11	1	2	1		
	定点当り	1.08	1.11	2.20	0.50	0.00	3.67	0.33	0.50	1.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	62	67	13	15	9	16	5	5		2	2
	定点当り	1.72	1.86	1.30	2.50	2.25	5.33	1.67	1.25	0.00	0.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	202	198	27	58	7	22	31	21	7	20	5
	定点当り	5.61	5.50	2.70	9.67	1.75	7.33	10.33	5.25	7.00	5.00	5.00
水痘	報告数	3	4			2	1				1	
	定点当り	0.08	0.11	0.00	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	44	39	9	10	8	11				1	
	定点当り	1.22	1.08	0.90	1.67	2.00	3.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	24	4	8	7	3	1			1	
	定点当り	0.47	0.67	0.40	1.33	1.75	1.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	16	26	6	6	7	2		1		3	1
	定点当り	0.44	0.72	0.60	1.00	1.75	0.67	0.00	0.25	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	94	104	24	13	38	7	9	1		6	6
	定点当り	2.61	2.89	2.40	2.17	9.50	2.33	3.00	0.25	0.00	1.50	6.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	10	8	2							
	定点当り	2.50	1.67	2.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～36週)

2類感染症	結核	150例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	14例
	破傷風	1例	百日咳	213例(4)
	麻しん	1例		
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			デング熱	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	1例
			風しん	1例

()内は今週届出分、再掲